

# 県連ニュース

2017年 8月号 NO-552



木曾駒ヶ岳 テント場にて2016.7.31撮影

滋賀山友会所属 北村 光雄さん提供

## 滋賀県勤労者山岳連盟

## 目 次

寄稿	リレーエッセイ	2
案内	ハイキングセミナー募集	3
	比良山縦走大会	4
	登山祭典 予告	
報告	第6回 理事会議事録	5
	平和大行進に参加して	7
	「新特別基金」全国担当者会議	9
	滋賀民報社掲載原稿（その5）転載	10
	県連40周年を記念して	11
	ぐうたら理事長のつぶやき	13
予 定 表		14

## リレーエッセイ

比良雪稜会 堀池差英子

「大丈夫、君は一人じゃない。」 最近よく聞く歌詞

「強風のため列車が遅れ、お客様には大変ご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。」 強風はJRの責任かなあ。

「フクシマはアンダーコントロール。」 世界に向けて断言された言葉

人を元気にする、人に寄り添う、思いを汲みとる、やさしい、配慮のある言葉  
こういう言葉に囲まれ、心が満たされる～はずが、閉塞感で満たされ、しんどく  
なってきました。

好ましい言い回しに伴う中身が見えない。言葉はあるけれど、現実がない。

山についてはどうか。

例えば、この山に登ることができるかというとき、地形と気象条件という現実  
があって、可能か不可能かは言葉で飾る余地がない。

会報は、記録や情報の紹介が大半を占めるため簡潔な文章が多い。

「なぜ山に登るの？」という問いに、適切に答えることは難しいと思う。山の魅  
力を言葉で表現するのは至難の業。

でも、一緒に歩けば、言葉は要らない。

これから山に入ろうとするとき、急な登りに息を切らしているとき、尾根に出  
て視界が開けたとき、山頂に立ったとき、無事に下山したとき、同行している者  
各々の身体が受け止めている感覚は共有されている。分かり合っている思い、潔  
く、心地よい。それが、一緒に山に行く嬉しさなのかもしれないと思っています。

## 第 1 回 ハイキングセミナー参加者募集

### テーマ「地図に親しもう」

対象 各会の会員  
目的 一般を対象にしたセミナーを開きたいと思います。そのための講師・  
スタッフの養成  
募集人員 5名程度  
締め切り 8月3日(木)  
参加費 2000円(資料代・講師、スタッフ交通費、報告集製作費など)

日程 座学 8月5日(土) 13時から県連事務所  
第1回実技 8月19日(土) びわ湖放送～音羽山～平尾  
第2回実技 9月2日(土) 山科～大文字山～鏡山～山科  
第3回実技 9月16日(土) 京阪大谷～音羽山～若葉台  
※ 会の例会に参加できるように土曜日にしました。

内容 尾根と谷の見分け方、等高線について、磁北線の引き方、磁石の使い方、  
現在地の確認

その他

※ 最終的に報告集も作りたいと思います。

申し込み、問合せ先 友永

電話番号 077-524-5618 メールは [yt19481013@yahoo.co.jp](mailto:yt19481013@yahoo.co.jp) です。

※7月10日現在2名の申し込みです。もう少し参加していただけると嬉しいのですが。

## 比良縦走大会のご案内

恒例の県連主催比良縦走大会を下記のとおり開催しますので、皆さま多数ご参加ください。

- 1 開催日 2017年9月24日(日)
- 2 コース 8:00 ⇒ 栗原登山口スタート  
17:00 ⇒ 楊梅ノ滝入り口の東屋 ゴール 必着
- 3 集合 JR和邇駅7:10 集合(山科駅 6:38 近江今津行 ⇒和邇駅 7:03)  
和邇駅からタクシー乗り合わせで登山口へ → 各自負担
- 4 参加費 1,000 円(保険等諸費用含む)実施日当日徴収します。
- 5 締め切り 9月4日(月)
- 6 申し込みは、各会理事又は会代表者まで
- 7 注意事項
  - ① 参加資格  
コースを十分把握している個人もしくはリーダーがいるパーティ。  
個人 労山会員で新特別基金の加入者。  
パーティ 基金加入者がリーダー。  
一般参加者も含めグループ行動厳守となります。
  - ② 道迷い、けが、事故等トラブルについて主催者は責任を負いません。
- 8 県連担当：遭難対策部(今村・川端) 教育部(長谷川・乾)

### 第55回登山祭典について

10月29日に第55回登山祭典を予定しています。昨年は40周年記念行事として八雲ヶ原集中にしましたが、今年は従来通り各会で目的地を決めて一般の方を募集してほしいと思います。

8月2日の理事会までに目的地、集合場所・時間、歩行時間、予定コース、参加費、申込先、定員、締切日などを理事か友永までお知らせください。よろしくお願いします。

8月中旬にはちらしを作成し県連ニュースと一緒に送れればと思っています。また、安全登山ハンドブックも送りますので、お手間でなければ一般参加者の方に渡していただきたいと思います。

詳細は9月、10月の県連ニュースでお知らせします。

## 2017年度 第6回 理事会報告

7月5日(水) 19:00~20:30 県連事務所

出席：北村、友永、奥野、宮内、長谷川、池田、高玉、川端、乾、今村、東郷(記録)  
(理事会定数14名)

欠席：(連絡あり) 秋田、中島、堀部

★下記の議題について、報告 協議 決定しました。

### 1. 比良縦走大会(協議)

- ・日程：9/24(日)
- ・担当：遭難対策部(今村・川端) 教育部(長谷川・乾)
- ・人数分のタクシーを予約する タクシーが足りないときはスタッフの車を出す
- ・迷いやすい所に印をつける

### 2. 祝賀会(40周年記念行事)(協議)

- ・40年の歩み→9月末ころまでに作る
- ・寺川元会長、西村さん、柴田さん、村田さん、重井さんに県連ニュースへの投稿を依頼した。
- ・創立以来現役の会員として活動しておられる4名の方を表彰する。
- ・祝賀会 津市民文化会館で実施する。11/26(日)開催決定
- ・清掃登山関係の自治体にも案内を出す。
- ・案内文を次回県連ニュースに載せる。
- ・スタッフは午前9時集合で、17時まで
- ・次回打ち合わせ 7/19 14時から事務所で行う。

### 3. 登山祭典(協議)

- ・場所:各会で検討、決定
- ・日程:10/29(日)
- ・担当:組織部(友永・池田)
- ・新日本スポーツ連盟(星さん)要望→登山祭典で1コース受け持ちたい。(音羽山あたりの予定。スタッフを何人か出してほしい。)
- ・各会へコース確定依頼 8/2
- ・県連ニュース9月号掲載
- ・ちらし作成 注文8/10頃
- ・一般参加者の保険料100円を県連に支払う

### 4. 各部報告

組織部；前月末の会員数(2017・6E/2017. 5E)

山友会	80/80	岳友会	51/50	雪稜会	48/47	彷徨	16/16
ちごゆり	17/17	シヤクナゲ	5/5	合計	217/215		(100.9%)

※前年度末比 217/222 97.7%

教育部

- ・7/22 キノコ観察会実施 参加予定 7/5 現在 7 名
- ・ハイキングセミナー実施→参加予定 7/5 現在 2 名

自然保護部

- ・7/1 近プロ自然保護委員会→次回報告

機関紙部

- ・県連ニュース 8 月号 原稿締切り 7/15、印刷・発送 7/20

救助隊

- ・6/29(木) 事務局会議報告
- ・7/25(火) カシミール入門講座
- ・テーピング講座に 3 名参加
- ・安全登山講習会 9 月ころ「くま対策(仮)→熊森協会へ講師依頼中
- ・冬山搬出訓練を開きたい
- ・救助隊のメンバーを代えたいので、募集する

CSS

- ・7/末 八ヶ岳阿弥陀南稜
- ・7/18 レベルアップ登山講座オリエンテーション

遭難対策部・財政部・SKI-NET 特にありません

## 5 その他

- ・6/21 びわ湖放送で放映→金勝アルプス、伊吹山
- ・6/27 新日本スポーツ連盟(星さん)と懇談→登山祭典で 1 コース受け持ちたい
- ・モンベルのスポンサー契約について→モンベルの返答待ち
- ・国民平和大行進 滋賀 6 月 16～21 日 21 日山科で京都府連に労山旗渡し 山友会会員 矢木野さん 岐阜県全コース&滋賀県 6/20 まで行進
- ・7/1～2 「新特別基金」全国担当者会議報告 乾理事(彷徨)
- ・第 20 回労山自然保護講座 8/19～20 尾瀬・山ノ鼻小屋 参加費無料 定員 25 名
- ・2017 年カザフスタン・四大国立公園と交流ハイク  
8/25～9/2 参加費概算 26～27 万円
- ・全国ハイキング学校 9/16～18 日 湯沢町 ホテルクライム
- ・第 1 回全国救助隊技術交流集会 11/4～5 長野県川上村 参加費 8000 円 定員 25 名
- ・安全登山ハンドブック配布予定→県連ニュースと一緒に
- ・清掃登山の時、ゴミの分別をする必要があるのか→全国連盟の報告書に記録するために、どんなゴミが出ているのかを調べている
- ・組織部 勧誘ちらしを全て配布済み ちらしの残りはありません

■ 次回第 7 回理事会 8 月 2 日 (水) 19:00 ～

## 平和行進①

矢木野 まち子(滋賀山友会)

平和で安全で、お互い信頼できる日本を残したいと切に思い参加させていただきました。

### 16日

町長も出席された関ヶ原町での岐阜県から滋賀県に引き継ぐ式典で、東京～広島まで通し行進者である草津在の西田さんをたたえる横断幕や歌声に強い絆を感じました。山友会の旗を持ち、ウオーキング部長の山田さんに見つけてもらえてホッとしました。

式典後山東町まで車で移動し、庁舎で町職員の方々の歓迎挨拶を受け、近江長岡駅まで往復行進。車移動し17時30分に新しい立派な建物の長浜市役所で歓迎挨拶、市内を30分以上行進しました。

### 17日

彦根市役所9時。山田さんも労山の旗を持ち1日参加。市内の旧道、七曲？は道と両脇の古い家が面白く、旗を振りながら眺め歩きました。近江鉄道に乗り短縮。豊郷町も歓迎(お萩が美味しかった)行進、愛荘町では休日にもかかわらず町長さんのご挨拶があり、社会の真実を正しく見つけた、心こもった内容で素晴らしかった。八日市駅から東近江市役所まで行進しました。

### 18日

安土から近江八幡市役所へ行進。地元賛同の方々と交流し、また田んぼや田舎風街を篠原駅まで行進、皆さんは野洲まで乗車し夕方の駅前で署名活動を。

### 19日

平日の時刻が早かったのを気づかず乗り遅れ！自宅に戻り高速道路を使い米原からJRに乗り、野洲では道がわからず一人行進で先に行き過ぎドタバタ…後から行進宣伝カーの声が聞こえてきてホッ。栗東から旧中山道を歩き草津川も越え旧東海道に入り、実家の前が旧中山道なので始発場所を初めて通り感激。この日も夕方、草津駅前で宣伝行動がありました。

### 20日

8時に草津駅に着き、ユックリ駅前を歩き各店を覗き、旧草津天井川の公園を散歩して古い家や本陣、酒屋さんを眺めるなど道草をして市役所9時まえに到着。高玉さんも参加された。ほぼ旧東海道を行進し、民医連の病院前で休憩し冷菓の接待を受け、通し行進者ということで所長の元気な女医さんに握手してもらいました。ちなみに滋賀県内通し行進者は男性お一人、西野さんでした。

県庁で歓迎式が済み、友永さんにお会いでき山友会の旗をお返しできました。大津駅まで

友永さんに送っていただきました。

山道と違い、アスファルトの道路は膝にまともに来ますのでトレイルラン用の、底の幅広い軽い靴を購入し調子良かったです。



## 平和行進②

友永芳和

21日は県庁前で出発式を行い、通し行進者の方の挨拶と歌を合唱し、労山旗を掲げて雨の中を出発。県庁より駅前商店街をシュプレヒコールをしながら通り抜ける。手を振ってくださる方もいた。時折強く降る雨の中をみんな元気で歩き続ける。国道161号より1号線に入る。1号線に入ると車の通行も多くなる。車で通る方に手を振りながら歩き続ける。長尾交番前から県境の道に入る。ここから滋賀県警の方が警備して下さる。古い町並みの残る良い雰囲気です。長尾公民館で休憩。休憩後少し戻り横木1丁目を歩く。しばらく歩くと京都との境。ここで京都府警の方と交代。狭い道を車に気をつけながら歩く。交通整理も大変です。京都の方は行進が近づくと出てきて挨拶をしてくれる。止まっている警察車両が多くなると京都の方たちが待つ公園に着く。もうすでにたくさんの方が集まっていた。京都市内を歩いていた方が着くのを待って引き継ぎ式を行う。京都の方に労山旗をお渡しした。

毎年行っている平和行進ですが、北朝鮮による核の脅威など様々な問題が山積みです。少しでも多くの方に関心を持っていただくためにも続けて行くことが大切だと思います。

## 第5回新特別基金全国会議報告

乾久子(彷徨倶楽部)

日本勤労者山岳連盟（以下、全国連盟）の第5回新特別基金全国会議が、7月1日(土)～7月2日(日)に東京で開催され、出席してまいりました。今回の会議は以下のような内容でした。

参加連盟：29都道府県

参加人数：40名

### 内容

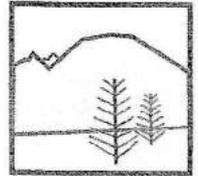
- ① 新特別基金の現状についての意見と改善の要望
  - ・ヒトココ、ココヘリの導入についての議論
  - ・無事故報奨金の是非
  - ・スキー場での事故も新特別基金の対象にしてほしい。
- ② 基金の名称について
  - ・10年、20年後でも通用する名前に変更する。
  - ・遭難対策基金等、一目で内容がわかる名前に変更する。
  - ・最近入会した人には説明しにくい。わかりやすいパンフが欲しい。
- ③ 基金制度の問題、改善の課題
  - ・安全対策基金の内容が分かりにくい。
- ④ ほかの山岳保険との違い
  - ・救助、捜索に特化して、その分価格を安くしてほしい。
  - ・救助費用の具体的な金額を教えてください。
  - ・新特別基金以外の保険にも加入していて、遭難救助の費用がかかった場合どのように案分するのか。などの意見が出ました。

滋賀県からも皆様から頂いた意見や要望を伝えました。具体的な決定事項はなく、新特別基金運営委員会等で検討するとのことでした。

### 感想

新特別基金と他の山岳保険の区別もよくわからないまま、会議に臨んだが、新特別基金は悪くないと思った。ただどのような良い制度もきちんと理解しないといざと言う時に適切に利用できないと思った。まずは計画書の提出と事故一報の徹底だと思う。また懇親会に参加して、他府県の参加者と交流できたのは有意義であった。中でも長崎県には93才の現役山ガールが在籍していらっしゃるという、長く登り続けたいと励みになった。

# 山での歩き方と行動



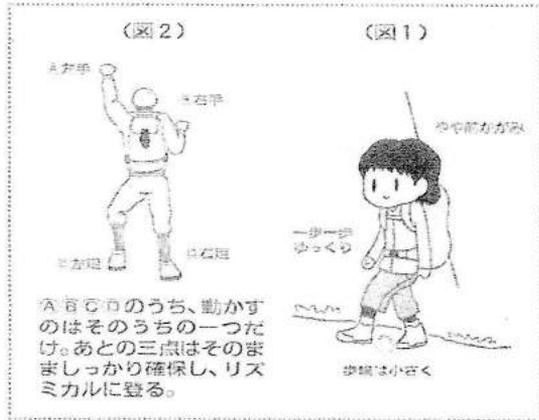
## 山を安全に楽しむための 登山教室

滋賀県立芳者山岳連盟

友永 芳和

前々回、山に昇る服装などについて紹介しましたが、今回は山での歩き方や行動についてお話ししましょう。

- 【1】家を出る前に  
家族に、どの山に誰と行くのかを、必ず伝えておきましょう。道に迷い帰宅時間を遅れた時や急な病気・事故のとき役立ちます。
- 【2】歩き出す前に  
準備運動をして身体を十分にほぐしてから歩き出します。トイレも必ず済ませましょう。
- 【3】コース・登山口をしっかりと確認



(図2) A B C Dのうち、動かすのはそのうちの二つだけ。あとの二点はそのまましっかり確保し、リズミカルに登る。

- 【4】歩き始めの30分  
歩き始めの15〜30分は意識的にゆっくりと歩き、30分ほどで一回目の休憩を5〜10分ほどとり、ザック、靴紐、衣類のチェックと水分の補給をします。以後の休憩は、50分〜60分くらい歩いたら10分ほどとるのが一般的です。
- 【5】休憩時には  
休憩が何分間か確認し、時間がきたらすぐ出発できるようにしておきます。長い休憩は体が冷えてくるので、上に一枚着て体を温め、さないようにします。衣類や靴、バックパックなどを調整し、水や食料、チョコレートなどを口にしてエネルギーを補給しておきます。
- 【6】急な登りでは  
やや前傾姿勢で、歩幅を狭く、靴底全体を地面につけ、息が切れない程度に一歩一歩ゆっくり登ります(図1)。もし石を踏としてしまったら、「ラーク」と大声で下の人に知らせてください。
- 【7】岩場・植付物では  
岩場では三点支持(図2)をしっかりと守ります。両手で鎖にぶら下がると体が揺られて危険です。鎖はあくまでも補助として下さい。岩や樹にしがみつかず、体を岩から離して足元が見えるように降り降ります。ハシゴは、鎖の日は常に滑りやすいので注意してください。軍手などは外したほうが安全です。
- 【8】下り道こそしっかりと  
山での転倒や滑跌事故は、主に下り道で発生します。気のゆるみ、足先の露出などが原因です。ヘッピリ腹にならず、膝を曲げて靴底全体で地面をしっかりと踏まわらせ、スムーズに次の足を前に出し、リズムカルに下ります。
- 【9】自然をいたわる  
山では原則として降り優先です。登って下る人に道をゆずりますが、その時はなるべく山側によけて下さい。
- 【10】自然をいたわる  
山の自然を傷つけないよう細心の注意を払います。登山道以外を歩いたり、植物の上に座ったり、植物を折ったり踏み取ったりしてはいけません。また自分の出したゴミは必ず持ち帰りましょう。

## 40周年祝賀会日程変更について

11月12日に予定していた祝賀会ですが、12日は会場の確保ができませんでした。急きょ11月26日でなんとか大津市民文化会館を確保する事ができました。それぞれの会で行事を予定されていると思いますが、ぜひ変更していただいて11月26日に参加してもらいたいと思います。詳細は次回の県連ニュースでお知らせします。

## 県連創立40周年を迎えて

寺川庄蔵(元連盟会長)

滋賀県連創立40周年おめでとうございます。

創立時の理事長として、だいぶ忘れましたが記憶をたどりながらそのころの活動などを振り返ってみたいと思います。

近畿では、「滋賀山友会」として労山ができたのも最後でしたが、県連を作ったのも最後でした。その頃目標にしていたのは確か奈良労山で、加盟労山を増やして早く追いつき追い越したいという思いがありました。そこで「滋賀山友会」だけでは会員増加に限界がありとにかく連盟を作るためには最低3つの山の会が必要と考えて、山友会に加盟希望する人の中からハイキング指向の人に「近江ハイキングクラブ」を立ち上げてもらい、職場が同じで複数で入会希望をした人に新しい会を結成してもらうように説得して「大津山の会ケルン」を作ってもらって、ようやく念願の3会が誕生できたことから県連結成にこぎつけることができました。

当時、会員拡大は友達関係からが主でしたが、大きな広がりを作り入会者を増やしたのは「清掃登山」と「登山祭典」でした。それぞれ年1回の行事でしたが、毎回確か2千枚～1万枚ほどの案内ビラを作り主要な駅頭で配り参加を呼びかけ、その参加者に入会していただくということが全く知らない人を増やしていく大きな効果がありました。そして、全国の労山に肩を並べるためには3つの会だけでは山岳会としての力を付けることは難しいのでさらに新しい会の増加を目指して取り組みました。その手法も、これまでの3

会はいずれも大津市を中心に活動していたので、会員の中で大津市以外の会員で一定の力のある会員を説得してその会員の住居地あるいは仕事場で新たな会を立ち上げてもらい、県連がそれを応援するという形で会を増やしていききました。私も、長年「滋賀山友会」の会長を務めましたが、退任して地元志賀町（当時）で「比良雪稜会」を立ち上げここでも数年会長として活動しました。また県連では結成以来理事長と会長を10年ほど続けたように思います。

いろいろ苦労はありましたがそのころの私は人生の大半を労山活動に費やしていました。やりがいもありましたしもちろん楽しくもありました。労山（滋賀山友会）結成のきっかけは1972年に全国労山が行ったヨーロッパ登山への参加資格取得のため、職場の仲間呼びかけて立ち上げたことが始まりでしたが、既存の山岳会（いわゆる岳連）の古い体質は私には受け入れられませんでした。特に自然保護活動が弱いでした。この岳連を超えることももう一つの目標となり、1982年のランシサ・リヒマラヤ登山は滋賀県初のヒマラヤ登山隊となり、成功させたことで一つ超えたときでした。しかし、ここに至るまでは「滋賀山友会」の五竜岳遭難事故など決して安易な道ではありませんでした。多くの全国の労山仲間、特に近畿では隣の京都、大阪、兵庫の仲間には助けられましたし、五竜岳遭難では全国の仲間の支援とりわけ長野労山には大変な力を出していただきました。今ある滋賀県連も、そうした全国の仲間を支えられて今日の滋賀県連があることを忘れないでほしいと思います。

現在73歳になった私は、銀行退職後農業に従事、労山も離れ山にも年2回登る程度になりましたが、山を愛する気持ちは変わりません。滋賀労山が全国に先駆けて始めた清掃登山や山の水質調査を継続していただいておりますが、今滋賀労山に望むことは内向きではなくそうした外向きの社会参加に力を注いでほしいことです。

青春を労山にかけてきたものの一人として、40年を経た今も滋賀労山が活動を続けていることは大変感慨深いです。これからも、安全には細心の注意を払いながらさらに継続発展していただきますよう心から念願しています。

2017.6. 21

## ぐうたら理事長のつぶやき

11月12日に予定していた40周年祝賀会ですが、会場が確保できなかったので11月26日に延期して「大津市民文化会館」で開くことになりました。詳細はまだ決まっていませんが、多くの会員の方に参加していただきたいと思います。

九州の豪雨災害は凄まじいものです。映像を見るたびに水の威力を感じさせられます。私も弟に電話して様子を聞いたのですが、幸いにも軽い被害ですんだようです。

毎年のように豪雨災害が報じられますが、何十年に一度の災害には太刀打ちするすべはないようです。人智を越えた自然の猛威の前では残念な事に人間は無力ということでしょうか。

ただこの経験を生かして少しでも対策が進むように願うだけです。

人間は月に行き、遙か宇宙のかなたまで衛星を飛ばせるようになりましたが、自分たちの住む地球の事はほとんど判っていないようです。「ひまわり」の画像で雲の発生は把握できても、それがいつ、どこで、どんな災害をもたらすかは知るよしもありません。いつ遭遇してもよいように、事前に災害に対処する方法や生活に必要な物の備蓄などを心掛けるようにしたいものです。

それは山でも一緒です。いつ、どこで、どんな状況に陥るかはわかりません。事前にしっかりした計画を立て、十分なトレーニングをして、体力を上手く分散し、どんな状況にも対応できる精神力を身に着ける必要があると思います。なかなかむづかしいことではあるのですが・・・。

先日ツェルトの使い方やビバークの体験をしてみたいとのお話をいただきました。難しいことはできませんが、やってみたいと思います。

8月26日の土曜日13時膳所駅集合にします。16時くらいから山頂で実際にツェルトを張ったりして一晩あかしましょう。下山される方はツェルトの張り方を体験した後下山しても明るいうちに登山口に着くと思います(行動は自己責任です)。一晩明かした後は、暗いうちにヘッドランプをともして下山したいと思います。

ツェルトをお持ちの方は持参してください。私は最近のツェルトの張り方は知りません。勉強したいと思います。飲み物、食料は各自です。

膳所～びわ湖放送～音羽山(泊)～びわ湖放送のコースです。

参加していただける方は8月22日までに友永まで連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メールは [yt19481013@yahoo.co.jp](mailto:yt19481013@yahoo.co.jp) です。

### 行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名				
8	2	第7回理事会	8	1	槍ヶ岳	山友				
				4~7	蝶ヶ岳~常念岳	雪稜				
				5	鈴鹿・渋川	山友				
				5	8月例会	岳友				
				8~13	上高地集中登山	岳友				
				11	六甲山	ちご				
				13	コメカイ道~笹峠	雪稜				
				20	弥仙山/京都	雪稜				
				24	ミーティング	彷徨				
				25~27	空木岳~木曾駒ヶ岳	雪稜				
				26	ミーティング	岳友				
				27	比良 八淵の滝	ちご				
				27	比叡山	山友				
9	2-3	奥飛騨・沢上谷 (CSS、レベルアップ登山講座)	9	1~4	燧ヶ岳・至仏山	雪稜				
				2-3	両白・取立山	山友				
				6	第8回理事会	岳友				
				10	黒河峠~愛発越	雪稜				
				10	おまかせ山行	ちご				
				16-18	北ア・横尾本谷~槍ヶ岳 (CSS、レベルアップ登山講座)	岳友				
								16-18	剣岳	彷徨
								17	堂山~笹間ヶ岳	雪稜
								21	ミーティング	彷徨
								24	峠シリーズ 鈴鹿峠	ちご
				24	比良縦走大会					
				29~1	鳳凰三山	雪稜				
				30	ミーティング	岳友				
10	4	第9回理事会	10	1	比良・蓬萊山、ふれあいハイク	山友				
				1	10月例会 (場所未定)	岳友				
				7~8	加賀 白山	岳友				
				7-8	扇ノ山	彷徨				
				7~9	熊野古道	ちご				
				8~9	鉢伏山・氷ノ山	雪稜				
				13-17	韓国の山(小白山 大白山他)	彷徨				
				14~15	大普賢岳~行者還岳	雪稜				
				19	ミーティング	彷徨				
				20~22	黒部下ノ廊下	雪稜				
				28	ミーティング	岳友				
				28	葛城山~金剛山	彷徨				
				29	音羽山、登山祭典	山友				
				29	横渡~大日~能登野	雪稜				
				29	登山祭典	ちご				
				29	登山祭典	ちご				

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ潮行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀

滋賀県勤労者山岳連盟は  
本年 40 周年を迎えました



原稿の投稿先 9月号は2017年8月15日(切)  
メールアドレス [okunoyutaka@yahoo.co.jp](mailto:okunoyutaka@yahoo.co.jp) まで

原稿はB5サイズ、フォント10~10.5で、使用する写真は  
200KB以内として下さい。皆様のご協力をお願い致します。

「県連ニュース」№552

発行日 2017年7月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0836

大津市杉浦町9-30

Tel 080-4971-6231

Eメール [shigarosan@gmail.com](mailto:shigarosan@gmail.com)

<http://shigarousan.jimdo.com/>

ゆうちょ銀行(店名418)普通0239956

発行責任者 友永芳和

編集委員 奥野 豊

高玉 敬子

東郷 京子